

第二回 諸橋轍次記念 漢字文化理解力検定 解答・解説

【問題一】(小計44点)

問1 【読み書き】①=ジュンケツ ②=隨分 ③=ユカイ ④=フニン ⑤=田舎 ⑥=邪心 ⑦=シンボウ ⑧=裸一貫(各2点)

問2 【漢字の意味】ア(2点)

問3 【故事成語の意味】イ(2点)

問4 【部首】ア(2点)

問5 【漢字の意味】エ(2点)

問6 【四字熟語】ウ(2点)

問7 【訓読み】(例) 丘、陸 ※「阜」「陵」なども正解。(各2点)

問8 【漢字の意味】エ(2点)

問9 【音読み】ア(2点)

問10 【漢文学】(1)=らいぎ(2点) (2)=ア(2点)

問11 【日本漢学】(1)=じんさい(2点) (2)=ウ(2点)

問12 【漢文学】ウ(2点)

■解説 問2 「生徒」でも「徒弟」でも、「徒」は教えを受ける者という意味。「徒勞」は無駄な、「徒步」は足で、「徒手」は何も持たないという意味。問3 「長」という漢字に惑わされないよう注意。文脈をきちんと汲めば正解は自ずと明らか。問4 「番」も「留」も、部首は「田」。「采」と「釆」は「采」、「奮」は「大」。問5 液体が薄いことは、漢語では「薄」ではなく、「淡」で表す。問6 有名無実は、名前に实体が伴わないこと。問8 「俯」は、訓読み「うつむく」。問9 アはタツチユウ、イはリュウズ、ウはキヨトウ、エはモウトウ。問10 五經は、易經、尚書、詩經、禮記、春秋。論語は、四書の一つ。問11 伊藤仁斎は、京都の儒学者。問12 『莊子』は、『老子』と共に老莊思想の書物とされる。

【問題二】(小計20点)

問1 【誤字訂正】①=減少 ②=焦眉 ③=喫緊 ④=三位 ⑤=猶予(各2点)

問2 【人物】ア・イ・エ・オ・ウ(6点)

問3 【故事成語と人物】イ・キ(各2点)

■解説 問2 ア「孔子」は春秋時代の思想家(前五五一?生)、イ「司馬遷」は前漢の歴史家(前一四五生)、ウ「蘇軾」は宋代の詩人(一〇三六生)、エ「陶潛」は六朝の詩人(三六五生)、オ「杜甫」は唐代の詩人(七一二生)。問3 「鷄口牛後」は蘇秦、「背水の陣」は韓信。

【問題三】(小計12点)

問1 【国字】蟻(2点)

問2 【国字】(1)=癩(2点) (2)=シャク(2点) (3)=例癩癩(2点)

問3 【国字】勵(2点)

問4 【国訓】デシメートル(2点)

■解説 問1 北海道では普通名詞や店名として「蟻」という字の日常的な使用が見られるほか、主に東日本の各地で地名に、九州南部を中心とする各地で名字に、しばしば使用されている。問2 「癩」は江戸時代に、漢字の「積」(シャク)に「やまいだれ」をかけて作られた国字。中国の広東語圏でも使われているが、日本の用法は出自を示す歴史的な状況からみて国字といえる。問3 「勵」は、筆画が多いために、ガリ版刷りやメモなどで、しばしば中間の「重」を省いて「仇」という字で代用されることがある。問4 「粉」は、古代の中国では、「こな」やそれによつわる意味しかなかつたが、日本では別系統の会意文字として、明治期より「米」(メートル)の「分」(十分の一)から、デシメートルという国訓を持たせている。

【問題四】(小計14点)

問1 【字典】A=ク B=コ C=イ D=オ E=カ(各1点)

問2 【書名】①=せつもんかいじ ②=こうきじてん(各2点)

問3 【字書】a=ア b=オ c=イ d=ウ e=エ(各1点)

■解説 問1 歴代の代表的な字書について問う問題。ここにあげた字書はすべて部首法によって漢字を配列しており、部首の数は『説文解字』の五百四十部から『康熙字典』の二百十四部にいたつた。問3『字林』は現存しないが、『隋書』経籍志に、晋の呂忱撰とある。

【問題五】(小計10点)

問1 【諸橋博士の生涯】(1)=清(2点) (2)=九十九(歳)(2点)

問2 【諸橋博士の生涯】(1)=イ(2点) (2)=エ(2点)

問3 【大漢和辞典】ウ(2点)

■解説 問1 「穆如清風」は、「^{ぼく}として清風の^{ひこ}し」と読む。中国の古典、詩経の一節。問2 嘉納治五郎は、諸橋轍次の数々の就職先や、中国留学を後押しした。